



# くぎかいだより

No. 229  
発行/北区議会  
〒114-8508  
東京都北区王子本町1丁目15番22号  
TEL(3908)1111(大代表)



## 第3回定例会を開会

### 平成21年度各会計決算を認定しました

意見書

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書 ほか  
計7件を可決しました

### 今回の写真は

#### 中央公園文化センター

中央公園文化センターは、洋風の白い壁が印象的な建物で、病院、警察署、裁判所等としてドラマにもたびたび登場する区民の学習と交流・文化創造の広場です。

十条台1-2-1

平成22年第3回定例会は、9月13日に招集され、26日間の会期で10月8日に閉会しました。

9月13日、14日の2日間にわたり、12名の議員が財政・福祉・教育・都市問題など当面する区政の課題について代表・個人質問を行いました。

今回、区長から提出された議案等25件、議員から提出された議案7件、請願・陳情4件を議決しました。

### 229号 目次

- 代表質問……………2・3
- 個人質問……………4
- 議決した議案等……………5
- 決算に対する態度……………6
- 委員会トピックス……………7
- 請願・陳情の結果……………7
- 意見書の要旨……………7
- 議会の動き……………8
- 次回定例会案内……………8



# 各会派の代表質問

## 区民の自立を支援する北区政を 高齢者の見守りネットワーク充実



日本共産党北区議員団  
本田 正則

**問** 激しい集中豪雨の頻度が高まる中、集中豪雨対策の抜本改善を国や都に働きかけるべきと考える。

**答** 1時間100ミリを超えるような局地的集中豪雨にも対応する抜本的な対策の実施を都や国に求めていく。

**問** 熱中症による死亡が続き、対策は喫緊の課題。低所得高齢者へのエアコン設置、修繕助成等を求める。

**答** 高齢者の所得把握や基準が難しく、財政負担も大きく、助成は困難と考える。高齢者住宅、高齢化が進



印刷局東京病院とコミュニティバス

**問** 印刷局東京病院には専門職の生活支援員を24時間配置することが必要と考える。

**答** 高齢者住宅は専門職員の配置と緊急時通報システム等を導入し対応。大規模団地は、安心して暮らせるための福祉施設等の併設を住宅管理主体に要望している。

**問** 区は、北社会保険病院の公的存続と拡充の必要性を改めて政府に要望し、社会に発信すべき。

**答** 今後現行の病院体制での運営がされるよう国の動向を注視し、区議会、医師

**問** 今後情報収集に努め、国等への働きかけも検討し、健全な行政運営を可能とする取組みを推進していく。

**問** 「北社会保険病院は絶対に必要」との区民の声を関係各省にアピールし続けるべきだが、北区の姿勢は。

**答** 区としては、今後も現行の病院体制が引継がれる形での運営がなされるよう、時期を失することなく国に要望を行う等医療機能確保に向け全力で取り組んでいく。

**問** 今後、行政のIT化が進むことは想像に難くない。

**問** 職員も区民も能力を発揮できる北区と、それを支える庁舎が望まれるが見解は。

**答** IT化に対し柔軟に対応でき、効率的、効果的なインフラ整備のなされた庁舎であることが必要と考える。

**問** 赤羽駅周辺の放置自転車は歩行の問題だけでなく、イメージ低下で区の利益を損ねるもの。駅周辺自転車駐車場整備の展望を問う。

**答** 本年度行う赤羽駅周辺自転車駐車場基本設計の中で、抜本的な放置自転車対策を検討していく。

## 豪雨による石神井川溢水について 生活保護制度の運用について



公明党議員団  
大島 実

**問** 職員が被災現場に入り、きめ細かく被災者の聞き取り調査を実施する等、的確にニーズを把握できたのは。被災住民の生活再建に対し今後の区の取組みは。

**答** 提案の趣旨を踏まえ災害直後の調査体制構築について、早急に検討を進め、被害状況の把握に努めていく。

**問** 地域住民の水害に対する不安を解消するため、下水道幹線等の早期供用開始と石神井川下流域に調節池等の貯留施設建設を都に望む。貯留施設による水量調整

**問** 策等を緊急に実施するよう、また、堀船一号幹線等も早期に供用開始されるよう都に求めていく。

**問** 今回の水害に対して、北区の危機管理が十分機能したのか検証する必要がある。

**答** 水害危機発生の際の対処について、関係機関との連携を強化し、庁内における機動的な危機管理態勢の整備を早急に進めていく。

**問** 災害時要援護者リストの運用について、水害を被った災害時要援護者に対し、地域自主防災組織が機能し



環状7号線地下調節池

**問** たか検証を行うべき。

**答** 災害時要援護者名簿を作成し、各自主防災組織に配布しているが活用されてない状況。名簿の配布、活用方法の再検討を行っている。

**問** 北区における生活保護の動向、また、把握している課題を問う。

**答** 長期の景気低迷、高齢化進展等から生活保護世帯は年々増加している。高齢者被保護世帯の割合が増加し、生活実態把握や健康管理に対する適切な支援が課題。

**問** 北区の自立支援プログラ

**問** ムの導入と取組みを問う。

**答** 平成17年度から就労支援、19年度から健康増進、高校進学支援、今年度から年金受給促進、債務整理を加え、5件の自立支援プログラムを実施している。

**問** 区は、高齢者が身近に社会参加できる機会や場所をどのように考えているのか。

**答** 多くの人との交流により、心身の健康を維持するため高齢者ふれあい食事会や筋力アップ体操教室等を実施しており、今後もこのような場を増やしていきたい。

## 水害対策と北区のこれからを問う 抜本的な水害対策、赤羽駐輪対策



自由民主党議員団  
太田 奈保子

**問** 堀船地区は平成17年に続く2度目の浸水被害。水害対策の抜本的改革のため、石神井川の管理者である都に働きかけ、都と区と強力な連携のもと、整備を進めるべき。区の姿勢と決意は。

**答** 貯留施設による水量調整策等を緊急に実施するよう都に求めている。今後とも抜本的な対策の実施を、粘り強く都に求めていく。

**問** 下水が溢れる内水氾濫を防ぐ方法として、下水道に流れ込む水の量を抑制する一時貯留施設が挙げられる。



石神井川

**問** 区内の大規模な一時貯留施設の整備状況、計画を問う。

**答** 都では浸水対策として貯留管を整備し被害軽減を図ってきた。今年度も赤羽台三丁目において貯留管整備に着手し雨水排水能力増強を図っていくと聞いている。

**問** 政権交代により、今後区財政にどのような影響が懸念され、それに対し、どのような働きかけをするのか。

**答** 子ども手当の地方負担分の発生や国庫補助負担金の一括交付金化等が実施された際の影響が懸念される。

**問** 今後情報収集に努め、国等への働きかけも検討し、健全な行政運営を可能とする取組みを推進していく。

**問** 「北社会保険病院は絶対に必要」との区民の声を関係各省にアピールし続けるべきだが、北区の姿勢は。

**答** 区としては、今後も現行の病院体制が引継がれる形での運営がなされるよう、時期を失することなく国に要望を行う等医療機能確保に向け全力で取り組んでいく。

**問** 今後、行政のIT化が進むことは想像に難くない。

**問** 職員も区民も能力を発揮できる北区と、それを支える庁舎が望まれるが見解は。

**答** IT化に対し柔軟に対応でき、効率的、効果的なインフラ整備のなされた庁舎であることが必要と考える。

**問** 赤羽駅周辺の放置自転車は歩行の問題だけでなく、イメージ低下で区の利益を損ねるもの。駅周辺自転車駐車場整備の展望を問う。

**答** 本年度行う赤羽駅周辺自転車駐車場基本設計の中で、抜本的な放置自転車対策を検討していく。



# 各会派の代表質問

## 北区のスポーツ振興について 「ゲリラ豪雨」対策について



民主区民クラブ  
花見 隆

**問** より魅力あるスポーツ事業提供のため、総合型地域スポーツクラブ等民間の活力・アイデアを活用すべき。

**答** 今後、指定管理者や総合型クラブを積極的に活用し、魅力あるプログラムを提供できるような工夫していく。

**問** 総合型クラブ間同士の交流、連携、協議の場が必要。(仮称)総合型クラブ連絡協議会等の設置をすべき。

**答** 既存クラブ運営のレベルアップだけでなく新たなクラブ設立促進に大変重要な機会と考える。今後交流の



赤羽スポーツの森公園競技場

**問** 「ゲリラ豪雨」と治水対策について国、都と協力し、抜本的措置を求める。

**答** 石神井川下流部の治水能力を高めるための貯留施設による水量調整策等、局地的集中豪雨にも対応する抜本的対策の実施を今後とも都や国に求めていく。

**問** 7月5日の水害被災直後の区の対応を十分検証し、災害対策本部機能充実と即応性強化を図ること。また、災害発生及び予想時での地域への周知方法の確立を。

**問** 水防本部の対応を検証し、関係機関との連携を強化しつつ、庁内の機動的な危機管理態勢整備も早急に進める。メール送信による災害情報伝達方法を現在開発中。

**問** 消防団が事前に災害時に土嚢要請が多い場所の情報を把握しておけば、消防団員が初期対応できるのでは。

**答** 水害履歴情報活用で迅速な初期対応が可能と考える。区内各消防署と協議のうえ、情報の活用方法や各消防団との連携を検討していく。

**問** 虐待の疑いがある家庭へ

**答** 水防本部の対応を検証し、関係機関との連携を強化しつつ、庁内の機動的な危機管理態勢整備も早急に進める。メール送信による災害情報伝達方法を現在開発中。

**問** 区も更に一歩踏み込んだ緊急景気対策を講ずるべき。

**答** 平成20年から緊急景気対策を実施し、更に本定例会で新たな事業を提案。今後も景気と雇用の把握に努め、効果的な実施に努める。

## 花川区政2期8年の実績を問う 「北区・子どもの水辺」の評価は



あすか新生議員団  
石川 清

**問** 数多くの実績を残したが道半ばの事業も多々ある花川区政2期8年の総括は。

**答** 基本計画二〇〇五において「区民とともに」の基本姿勢と4つの重点戦略を掲げ、区の抱える課題への対応を着実に推進してきた。

**問** 北区において観光の推進役となりうる北区観光ボランティアガイドの育成と今後の事業計画を問う。

**答** 平成20年度より観光ボランティア養成講座を開催、今年3月から北区観光ボランティアガイド事業を実施

し、好評を得ている。今後もガイドと協働して新たな北区の魅力の創出に努める。

**問** 区民活動で、荒川河川敷で川の清掃活動や動植物の生態調査等を行っている区民ボランティア「北区・子どもの水辺」の評価を問う。

**答** 今後、「区民とともに」の基本姿勢のもと、「北区・子どもの水辺」の活動が発展するよう区としても、可能な支援を行っていく。

**問** 補助73号線完成までもう一息。残りの道路用地の買収状況や都のまちづくり



北区・子どもの水辺

に対する考え方を住民と話し合うことが大事だが、区の適切なアドバイスも必要。

**答** 補助73号線は平成21年度末で約9割強の用地を取得し、工事は約2割の進捗率と聞いている。説明会や意見交換の場等を含め、地元意向把握に努めていく。

**問** 年金・健康保険福祉施設整理機構の2年間延長決定は、事態を先送りしただけで社会保険病院等の運営のあり方について見通しが明確に示されていない。区はどう対応し判断したのか。

**答** 病院が現在の運営形態で確実に存続されるよう国の動向を引き続き注視し、区議会や医師会と相談のうえ、全力を挙げて取組んでいく。

**問** 赤羽台中学校跡地の売却先は東洋大学。大学独自の働きかけで大学と区民の実りある交流ができるのでは。

**答** 来年度から東洋大学に北区や地域との連携窓口が開設。区の課題解決の推進とともに、地域や区民との連携を積極的に進め、地域の魅力アップも図っていく。

## 右の質問以外にも掲載しきれなかった質問がありました

スペースの都合上、代表質問の全ての質疑を掲載することができません。ここでは、そのほかの質問の要旨のみ掲載します。



### 自由民主党議員団

太田 奈保子

水害対策には、過去の事例や消防団等の地域防災組織からのフィードバックによりマニュアルを継続的に改善する必要がある。

- 雨水浸透施設助成事業費の実施状況について
- 水害が想定される地域にあらかじめ土嚢を準備する等、迅速な対応が可能な体制を整えるべき
- 新庁舎建設基本構想検討会の中で、区民の意見をどのように吸い上げていくのか

### 公明党議員団

大島 実

- 区内での内水氾濫の被害状況と今後の対策について
- 水害被害の原因について、都に十分な説明を求めよ
- 被災後の地域包括支援センターの対応について
- ケースワーカーの増員と人材育成について、どのような計画を持っているのか
- 区内に居住するすべての高齢者の生活実態、健康状態、地域での生活状況等の把握を目的とする全高齢者実態調査を求める

### 日本共産党北区議員団

本田 正則

- 石神井川溢水について、首都高と都の責任を問うべき
- ヘルパー、デイサービス食事代等の利用料減額制度の創設を
- ハローワークとの連携を強化し就労支援の専門組織を
- ニート・フリーター・引きこもり支援の実施を
- 工場の家賃や機械のリース代等も含めて直接助成に踏み切るべき
- 住宅リフォーム助成等で改修促進と区内経済循環促進

### 民主区民クラブ

花見 隆

- 区内の景気と雇用の現状をどう捉えているか
- 昨今の財政状況を問う
- 北区版自治基本条例を早急に制定すべきと考える
- 水害の被害総額をどのように把握しているか
- 北区とかわりのあるプロ選手・アスリートとの交流事業の実施について
- 実態をより把握するため、緊急雇用創出補助金を活用し75歳以上の高齢者に訪問調査を実施してはどうか

### あすか新生議員団

石川 清

- 第22回参議院議員選挙の結果と消費税や地方への一括交付金等の区政への影響は
- 北区における観光行政の役割を問う
- 北区における観光事業にどのようなものがあるのか
- 北区での公共事業と外来種の課題を問う
- 赤羽モナルトルを赤羽西地域の貴重な地域資源と捉え、赤羽地区全体を活用した芸術文化の起点にしてはどうか



# 個人質問

## 地域ファミリーへの展望を！

桜草と蛭の里構想等浮間問題



自由民主党 議員団 小池 たくみ

**問** 学校ファミリーが学校改革に留まらず、地域の再生・変革にまで繋がる構想「地域ファミリー」へ具体的に踏み出してはどうか。

**答** 地域から学校の教育力を高める活動を進める一方、学校も積極的に地域と交流を進め特色ある活動が行われ、着実に学校ファミリー構想が浸透しつつある。

**問** 浮間桜草園場、ケヤキの森、水生植物園を一つとして、蛭とともに再生を考える「桜草と蛭の里」という構想で、都に働きかけては

**答** 蛭等の再生は地域生態系の質的改善に繋がるとの視点で、今ある桜草園場と水生植物園を生かした浮間公園活用を都に働きかける。

**問** 旧西浮間小学校跡地利用は、公共施設のスペース確保を主眼に総合的な判断を

**答** 地域の課題、将来像等を検討し周辺環境との調和も視野に入れ、議会や地域の意見を聞き優先順位を定め具体的な計画を決定したい。

**問** 交通指導員を配置しているにもかかわらず、通学の安全を理由として指定校を変更した対応の理由を問う。

**答** 保護者から申し出があった場合に、個々具体的な事情を聞く中で対応を行った。

## Kバスの運行改善について

田端・西ヶ原東地区諸問題



自由民主党 議員団 戸枝 大幸

**問** 田端駅は、高台側、東田端側いずれも高低差がある。

駅前バリアフリー化として、1日も早くとの要望がある

**答** エレベーター設置の進捗状況と今後の見通しを問う。

**問** 両側ともにエレベーター設置に向けて準備を行っている。地域の期待が大きい施設であり、今後とも事業の着実な推進に努めていく。

**問** 区長に提出された駒込駅周辺まちづくりに関する要望書を踏まえ、駒込駅の位置づけや要望事項について

**答** 駒込駅周辺を「地域の生活拠点」と位置づけ、計画的なまちづくりを進める。また、地元の意見も踏まえ取組みの方向性を研究する。

**問** 事業仕分けで印刷局は抜本的見直しの判定を受け、印刷局東京病院は見通しが不安定。存続に向け区が

**答** 一層の要望活動を行うべき。区議会や医師会と相談しながら国に対して要望を行う等全力を挙げて取組む。

**問** Kバスの乗継ぎ、バス停位置、接遇面等改善を。

**答** 接遇面はバス事業者に更なる向上を要請する。様々な要望については自治会連合会の場で意見を聞き、より良い運行を目指したい。

## 浮間地区の諸課題について

新教育ビジョンの推進



公明党議員団 稲垣 浩

**問** 浮間舟渡駅前に交番がなく、児童を狙った犯罪や空き巣が多発しているのでは、

**答** 早急に警視庁へ駅前交番設置を強く申し入れるべき。交番は安全・安心を高める重要な施設。板橋区と連携し警視庁に要望していく。

**問** 新河岸川護岸壁に児童の卒業記念作品として壁画が描ければ、景観の美化や犯罪抑止にも繋がると思う。

**答** 壁画は地域の要望もあると聞いている。今後、学校、警察署、河川管理者と連携を図りながら進めていく。

**問** 青少年の健全育成を行うため、文化や福祉施設を兼ね備え、中高生の放課後の居場所となる複合型・浮間こども交流館を新設すべき。

**答** 施設整備は、児童館のあり方を検討する中で、学校跡地の活用計画、公共施設の再配置計画の進捗を踏まえながら課題としていく。

**問** 道徳教育推進教師の育成化がますます重要になると考えるが、区の支援策の現状と今後の見通しを問う。

**答** 道徳教育推進教師研修会を創設し教師育成に努めている。会の質的向上を図り、\*道徳研究部会を小中一貫の組織とし相互研修を目指す。

**問** 低所得層への配慮を！

**答** 就学の為の資金支援について

**問** 児童虐待事件は減る気配がなく、実態としても増えている可能性はある。教育現場と児童虐待を所管する育ち愛ほっと館との連携はどのようになっているのか。

**答** 教育現場で虐待の疑いがあった場合は、速やかに育ち愛ほっと館や児童相談所、教育相談所と連携を取るよう指導。個別のケース会議を設ける等情報の共有化、連携を密に対応。今後、更に虐待防止に努めていく。

**問** 区内の細かい地デジ放送完全移行対策を実施しない

と、来年7月突然テレビが見られなくなる地デジ難民が発生するのではないか。

**答** 区民に対する情報提供、電話相談への対応、\*デジサポと連携した説明会等を実施している。万全の態勢で地デジ移行に対応していく。

**問** 区営住宅の保守、建替えは財源が厳しい中、大きな問題となる。民間のデベロッパーの手法を取入れれば区の負担は軽くなるのでは。

**答** 区営住宅の多くは更新時期を迎える。適正な修繕により既存住宅の長寿命化を図り有効活用する一方、効果的かつ円滑な建替えを行うため、民間活用、仮移転等も含め検討していく。

## 北村西望・治禮氏作品の公開

北区として平和市長会加盟を

**問** 彫刻家北村西望・治禮親子の寄贈作品を積極的に公開するため、専門家等による検討会を立ち上げ、活用計画を策定し、当面は展示会を定期的に開催しては。

**答** 平成15年に専門家を交え「(仮称)彫刻アトリエ館構想」をまとめ一定の方向性を出した。今後これを踏まえ展示方法等を検討。

**問** 区民と西望・治禮両氏が完成させた「平和の女神像」の建立目的と意義を位置づけ、この不変のテーマと、戦後北区が目指してきた「軍都から平和のまち北区」のメッセージを内外に発信し続ける区長の決意を問う。

**答** 「平和の女神像」は、区民一人ひとりの、平和への願いが込められた大変貴重な財産として未来に繋いで

いかなくてもはならない。様々な機会を利用し、区民を始め多くの人にその目的や意義を伝えていきたい。

**問** 平和市長会議の平和と人権の目的や原則に照らして、躊躇することなく、内外の首長と連携していくために、1日も早く平和市長会議へ加盟する決断をすべき。

**答** 加盟については、区議会の意見や意向を十分踏まえ、中で検討していきたい。

## 石神井川水害被害の補償を

少人数学級の本格的実施を

**問** 石神井川水害の原因と責任の所在について、専門家による第三者機関において、徹底検証するよう求める。

**答** 原因究明、地元区民への丁寧な説明を都に要望した。今後とも、首都高速道路株式会社に対し、原因究明と丁寧な説明を求めていく。

**問** 被害にあった住民への補償を行う姿勢に立つよう、区の見解を問う。

**答** 補償の要望については聞いています。区としては、溢水の原因を究明し、地元区民への丁寧な説明を行うよう引き続き都に要望していく。

**問** 特別支援教育にかかわる人的体制の充実、学校図書館司書、スクールカウンセラーや栄養士等の職員の待遇改善、増員を求める。

**答** 昨年度、都への要望が認められスクールカウンセラーの増員が実現。今後とも国や都に対し、人的配置や財政支援の要望を続けていく。

**問** 現在、低年齢児を中心に待機児解消策を実施しているが、その子どもたちが3

歳以上になった時の保育園の受入れは十分か。

**答** 認可保育園の歳児定員見直しや私立幼稚園での預かり保育の活用等の対策を検討し、適切に対応していく。

## お年寄りに優しい街づくりを

非正規職員の労働条件改善を



新社会党議員団 福田 実

**問** 東十条駅南口に待合コーナー、椅子、信号機を設置し駅前の階段の解消を早急に関係者に働きかけ、跨線橋工事の際はエレベーター、駅前広場等を設置すること

**答** 待合所の設置はJRに、信号機等は警察に要請する。また、エレベーター等の設置は跨線橋架替えと一体的な整備を図るよう検討する。

**問** 交通整理警察官をつけての横断歩道の設置、またはエレベーターの設置で、尾長橋交差点の改善を求める。

**答** 横断歩道設置は警視庁に要望してきたが中間地点に人溜まりを確保できず困難。交通環境の変化を見ながら働きかけていく。エレベーター設置は都に申し入れる。東十条地区等の要望を踏まえたコミュニケーションの拡大を求める。

**問** 公共交通のあり方検討を行い、バス運行が必要と思われる地区を選定し検討。

**答** 非常勤職員の交通費は限度額が低く、ゼロもある。休暇等付与もバラバラで無しもある。何故か。

**問** 交通費は同一の勤務日数であれば基本的に同じ条件にすべきと考え、休暇は国を参考に統一していきたい。



## 議決した議案等

会派名と議員数 自：自由民主党議員団（13） 公：公明党議員団（10） 共：日本共産党北区議員団（9） 民：民主区民クラブ（7）  
 あ：あすか新生議員団（4） 社：新社会党議員団（1）

		議案名	概要	自	公	共	民	あ	社	議決結果		
第3回定例会	区長提出議案等	決算の認定	平成21年度東京都北区一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	○	認定		
		平成21年度東京都北区国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	○	認定			
		平成21年度東京都北区用地特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定			
		平成21年度東京都北区中小企業従業員退職金等共済事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定			
		平成21年度東京都北区老人保健会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定			
		平成21年度東京都北区介護保険会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定			
		平成21年度東京都北区後期高齢者医療会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定			
	区長提出議案等	条例	災害に際し応急措置の業務等に従事した者に係る損害補償に関する条例の一部を改正する条例	児童扶養手当法の一部改正に伴う規定の整備を行う	○	○	○	○	○	○	可決	
			東京都北区立高齢者在宅サービスセンター条例の一部を改正する条例	東京都北区立王子東高齢者在宅サービスセンターを廃止する	○	○	○	○	○	○	可決	
			東京都北区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例	新設学童クラブの名称及び実施場所を規定する	○	○	○	○	○	○	可決	
			東京都北区奨学資金貸付条例の一部を改正する条例	公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に伴い、奨学資金の貸付金額及び貸付回数の見直し等を行う	○	○	×	○	○	×	可決	
			東京都北区立幼稚園条例の一部を改正する条例	東京都北区立とよかわ幼稚園を廃止する	○	○	○	○	○	○	可決	
		その他	東田端二丁目アパート耐震補強及び東田端保育園改修工事請負契約	契約相手：本不二建設株式会社 契約金額：2億2,890万円	○	○	○	○	○	○	○	可決
			十条富士見中学校新築電気設備工事請負契約	契約相手：恒栄・東栄建設共同企業体 契約金額：2億3,940万円	○	○	○	○	○	○	○	可決
			十条富士見中学校新築給排水衛生設備工事請負契約	契約相手：石井・武井建設共同企業体 契約金額：1億8,900万円	○	○	○	○	○	○	○	可決
			十条富士見中学校新築空気調和設備工事請負契約	契約相手：アネス・ヒラタ建設共同企業体 契約金額：2億6,880万円	○	○	○	○	○	○	○	可決
			土地、建物の処分について	旧北区立赤羽台中学校の土地、建物等を売却する	○	○	○	○	○	○	○	可決
			東京都北区立滝野川東児童館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：株式会社日本デイケアセンター	○	○	×	○	○	×	可決	
	議員提出議案	意見書	東京都北区立赤羽西五丁目児童館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：株式会社日本保育サービス	○	○	○	○	○	▲	可決	
			東京都北区立東十条保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人育成会	○	○	○	○	○	○	可決	
			東京都北区立王子北保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人三社会	○	○	○	○	○	○	可決	
			平成22年度東京都北区一般会計補正予算（第2号）	18億9,722万3,000円の増	○	○	○	○	○	○	可決	
			平成22年度東京都北区老人保健会計補正予算（第1号）	1億93万1,000円の増	○	○	○	○	○	○	可決	
			平成22年度東京都北区介護保険会計補正予算（第1号）	5億8,944万3,000円の増	○	○	○	○	○	○	可決	
			平成22年度東京都北区後期高齢者医療会計補正予算（第1号）	3億7,351万4,000円の増	○	○	○	○	○	○	可決	
	議員提出議案	意見書	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書	提出先：東京都知事	○	○	○	○	○	○	可決	
			義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	提出先：内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣	○	○	○	○	○	○	可決	
			児童相談所の特別区への早期移管を求める意見書	提出先：東京都知事	○	○	○	○	○	○	可決	
子ども施策充実にかかわる国庫補助金に関する意見書			提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣	○	○	○	○	○	○	可決		
総合的な自殺対策の強化並びに加速推進を求める意見書			提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、内閣府自殺対策担当大臣	○	○	○	○	○	○	可決		
今後の保育制度改革に関する意見書			提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣	○	○	○	○	○	○	可決		
地上デジタル放送に関する意見書			提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣	○	○	○	○	○	○	可決		
	議案名	概要	自	公	共	民	あ	社	議決結果			

※採決時は、議長（公明党議員団）を除きます。

○：賛成 ×：反対 ▲：棄権退場



**※デジサポ**  
 総務省テレビ受信者支援センター。総務省が地上デジタル放送の周知・広報やきめ細かな受信相談を行うため設置。関係団体の協力を得て、支援を必要としている受信者、共同受信施設へ直接出向き、デジタル移行への意義や方法を丁寧に説明し、相談に応える。

**※道徳研究部会**  
 4ページ  
 今年度発足した、北区教育委員会の指導のもと、任意参加ではなく教職員全員参加型の研究組織である教育研究会の中の、道徳に関する研究部会。

**※掘船一号幹線**  
 2ページ  
 雨水の排水能力を増強して、浸水による被害から街を守るために整備される下水道幹線。王子第二ポンプ所の完成まで、当面は約2,100mの暫定貯留管として供用される。

代表・個人質問  
 用語解説



# 平成21年度決算を認定しました

平成22年第3回定例会において、平成21年度決算を審査する特別委員会を開会し、各会派が決算に対する態度を表明しました。ここでは、その要旨をお伝えします。

## 自由民主党議員団

平成20年度の経済状況は消費者物価指数・国内総生産ともにマイナス成長となり、長期債務残高も先進国中最悪の状態が続き、国・地方を取り巻く経済状況は依然として予断を許さないものであった。国は平成21年度予算編成にあたり地方財政に対して、厳しく歳出抑制を図るとの方針を示した。この中で、平成21年度は北区の基本方針、基本姿勢を堅持したことは高く評価する。また、経営改革プランに基づき、各部の内部努力の徹底や事務事業の見直し等を実施し、自立した持続可能な行財政に取組んだことも評価する。各分野でも中期計画を踏まえ区の基本である「子ども」・「かがやき戦略を始め、「元気」・「いきいき戦略」、「花\*みどり」・「やすらぎ戦略」、「安全・安心」・「快適戦略」の4つの重点戦略を積極的に推進させていった姿勢は、「区民とともに」の実現の取組みとして評価する。

しかし、いづれここで起こるかかわらない自然災害への対応とその備えは重要課題であり、地域防災のあり方等は再度危機管理の視点で点検することを求める。同時に7月5日の浸水に対して区の地形的な状況を考慮しながら、河川管理者に対して、二度とこのような

災害が発生しない、50ミリも含まれる100ミリ対応の設定を主目的とした調整池の水量調整機能等の治水対策作りを構築するための協議を持つよう求める。

駅周辺の諸課題、区民のための様々な制度改革、また教育環境整備の推進、多様な耐えうる保育園整備、高齢者対策の補助事業の充実、町会自治会の支援、都市まちづくりの推進、商店街支援の充実等多岐にわたる施策の実現は高く評価するが、なお一層の努力を求める。教職員の質の向上、地域力の活用、効果ある子育て支援策等は更に充実しなければならぬ課題であり、早期実現を望む。

不納欠損問題等は毎年の決算委員会で我が会派が指摘している。税の公平負担・受益者負担の原則を区民に知らせ、北区納付案内センターの機能化を含めた徴収努力を望むものである。最後に、基本計画推進を明確にし、今後も引き続き持続可能な財源確保に努力を求めらる。

以上により、一般会計決算及び6特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

## 公明党議員団

平成21年度決算では「区民とともに」の基本姿勢のもと、基本計画・中期計画を中心に限りある資源を各

分野に重点的・効率的に配分した。同時に、経済情勢を踏まえた緊急景気対策に優先して対応するとともに、建物耐震化、地球温暖化対策に積極的に対応してきた。特に、教育分野では、「教育先進都市・北区」を推進するための区立小学校へのALT配置の拡充と、外国語教育アドバイザーの導入。子育て支援では、保育園待機児ゼロを目指し保育園の定員拡大を行う等「子育てするなら北区が一番子どもを生み育てるなら北区」を実現するための事業の推進。その他、福祉施設の人材確保・育成支援、特別養護老人ホームを中心とした福祉施設の誘致に向けた準備、駅周辺バリアフリー推進、地球温暖化対策として街灯のLED化や、新エネ・省エネ機器導入助成を推進する等、幅広い取組みを評価する。

なお、以下について改めて要望する。  
一、公会計改革による財政の透明化。  
二、学校配備パソコンを活用した校務支援システムの導入。  
三、子ども家庭支援センターへの一時保護施設設置と専門職員の充実。  
四、水害総合対策の早期実現。  
五、ウイルス抗体検査・各種ワクチン接種の助成。  
六、高齢者・障がい者の安否確認体制の構築。

その他、決算特別委員会での各種要望について、実現に向けて積極的な取組みを求める。  
以上により、一般会計決算及び6特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

## 日本共産党北区議員団

公約違反が相次ぐ新政権や、都民のくらしを軽視する都政のもとで区政には区民の雇用や福祉の向上等施策の拡充が求められ、その実現を要望してきた。その中で、緊急雇用・中小企業への経済支援、保育園待機児解消等の努力については評価する。

しかし、以下4点を指摘する。

一、区政の基本に破綻が明確になった構造改革路線を置き、更に拡大し続けていること。  
二、経営改革プランによるコスト削減により、区民に犠牲を押し付け、職員の非常勤・臨時化を進め官製ワーキングプアといわれる職員を作り出し、職場に格差を広げ、働く意欲を後退させていること。  
三、次々に問題点が明らかになっていくにもかかわらず、無反省に指定管理者制度が拡大され続けていること。  
四、自治体財政を削減・圧迫する国の動向に対し断固とした姿勢を貫くことや、都から事務移管や補助金・交付金等を獲得しようとする姿勢が極めて消極的であること。

また、国民健康保険事業会計については、低所得者直撃の均等割の引上げ等に反対する。  
以上により、一般会計決算及び国民健康保険事業会計決算の認定に反対、他5特別会計決算の認定にはいずれも賛成する。

## 民主区民クラブ

平成21年度予算は、景気後退の影響で特別区交付金が大幅に減少する等厳しい環境下で執行されたが、志茂子ども交流館開館、旧新町中跡地への特養ホーム誘致等を実行し、「区民とともに」の基本姿勢のもと4つの重点戦略を中心に重点的・効率的に執行されたことを評価する。また、政権交代による新しい政策にも着実に対応している誠実な区政運営も評価する。

しかし、以下7点を要望する。

一、地域主権改革に積極的に取り組む「区民参加」住民自治」を拡充すること。  
二、掘船水害の反省を踏まえ、危機管理、災害対策を強化し、実践的な防災計画を作り上げること。  
三、緊急景気対策の拡充、雇用対策の専管組織等、雇用対策の抜本的強化を図ること。  
四、待機児童ゼロ対策、少人数学級の推進、教育環境の改善等「子育てするなら北区が一番」を着実に実行すること。  
五、十条まちづくりの推進、東十条駅南口バリアフリー化の早期整備を図ること。  
六、政府の二酸化炭素ガス25%削減方針を踏まえ、抜本的なCO<sub>2</sub>削減計画を推進すること。  
七、介護保険認定審査と運用の改善、特養ホームの増設等一層の努力をすること。

以上により、一般会計決算及び6特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

## あすか新生議員団

限られた予算を「区民とともに」という基本姿勢のもと、4つの重点戦略を中心に配分し、特に保育園待機児解消、特養ホーム等建設準備等の最重点化、緊急的な財源対策と財政健全化に向けた方針の策定は評価する。また、議会自ら身を削る必要から、議員定数を削減すべきと表明する。

なお、以下について要望する。観光ボランティアガイド育成と観光協会早期設立。入札制度の更なる競争性、透明性向上。たばこ喫煙について、区民の健康を第一とした健康施策の推進。教員の養成・採用・研修等による資質能力の向上。生涯スポーツに親しめる広場増設や空き施設利用対策等。

以上により、一般会計決算及び6特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

## 新社会党議員団

決算特別委員会委員でないため決算に対する意見表明はしていないが、一般会計決算及び6特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

### 決算特別委員会委員(22名)

- ◎池田 博一 ○横溝加代子
- 稲垣 浩 大島 実
- 大畑 修 小関 和幸
- 金子 章 小池たくみ
- 相楽 淑子 佐藤 有恒
- 椿 くにじ 戸枝 大幸
- 中川 大一 花見 隆
- 林 千春 樋口 万丈
- 宮島 修 八巻 直人
- 山崎たい子 山崎 満
- 山中 邦彦 渡辺かつひろ
- ◎委員長 ○副委員長



# 委員会トピックス

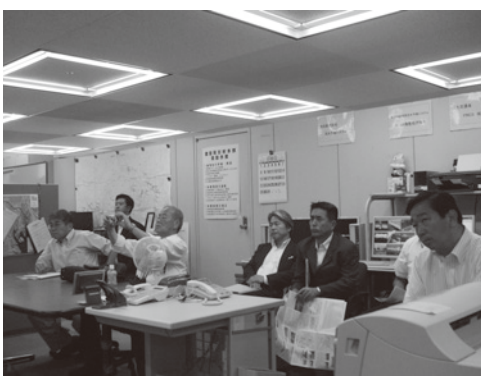
委員会の特徴的な活動をお知らせします。

## 防災対策特別委員会

8月27日

○視察を行いました。

東京の河川事業、石神井川の整備状況、7月5日の態勢について、東京都建設局河川部長、指導調整課長、中小河川計画担当課長、防災課長らと東京都庁第一庁舎で意見交換を行った後、水防災総合情報システムについて、防災課長から説明を聴取し、水防対策室を視察しました。



水防対策室を視察

9月22日

○説明会を行いました。

石神井川付替水理模型実験について、首都高速道路株式会社東京建設局建設部長、晴海工事グループ所長、改築推進グループ課長から説明を聴取しました。

## 決算特別委員会

9月24日・27日・28日・30日・10月1日・4日・5日

○決算を審査する特別委員会を設置しました。各会派の態度は6ページをご覧ください。

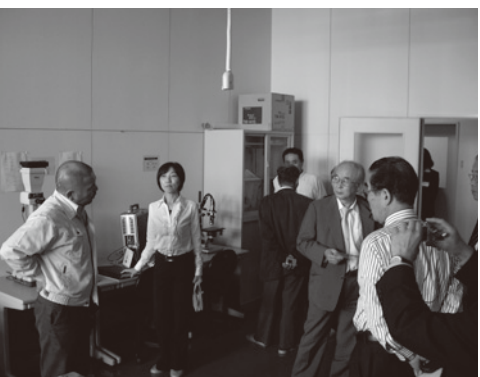
## 区民生活委員会

10月14日・15日

○管外視察を行いました。

岩手県花巻市では花巻市起業化支援センターについて、同センター長及び花巻市商工労政課職員から説明を聴取し、センター内を視察しました。

岩手県盛岡市では盛岡市産学官連携研究センター（コラボMIU）について、同センター副センター長から説明を聴取し、センター内を視察しました。



花巻市起業化支援センターを視察

## 健康福祉委員会

10月19日・20日

○管外視察を行いました。

兵庫県芦屋市では高齢者のケア付住宅について、社会福祉法人きらくえんあしや喜楽苑施設長、南芦屋浜シルバーハウジングLISA（生活支援員）リーダーから説明を聴取し、実際の住宅を視察しました。

山口県宇部市では医療と介護の連携について、宇部市健康福祉部次長から説明を聴取しました。

## 建設委員会

10月20日・21日

○管外視察を行いました。

大阪府大阪狭山市ではひと休みベンチ事業について、大阪狭山市都市整備部長から説明を聴取しました。

岡山県倉敷市では溜川水質浄化事業について、倉敷市環境リサイクル局環境政策部環境政策課長から説明を聴取し、溜川河川敷を視察しました。



溜川河川敷を視察

## 企画総務委員会

10月21日・22日

○管外視察を行いました。

兵庫県姫路市では「総合窓口センター」について、総合窓口センター所長から説明を



宇部市役所で説明を聴取

聴取し、「総合窓口センター」を視察しました。

静岡県静岡市では自治基本条例について、静岡市分権・広域政策課担当主査から説明を聴取しました。



「総合窓口センター」を視察

## 交通環境対策特別委員会

10月25日

○視察を行いました。

JR王子駅中央エレベーターについて、まちづくり部参事から説明を聴取し、同施設を視察しました。

また、JR上中里駅周辺（車坂跨線人道橋）について、工事課長から説明を聴取し、同施設を視察しました。



車坂跨線人道橋を視察

## 結果の出た 請願・陳情

### 採択されたもの

○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書提出に関する件 請22・2

○堀船地区水害に関する件 陳22・23

○知的障がい者施策の充実を求める件（第1項） 陳22・24  
▽趣旨に沿うよう努力すること

○義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出に関する件 陳22・25

▽は、採択された陳情に付された意見

◎なお、その他の請願・陳情は継続審査となりました。

## 可決した意見書要旨

○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書  
区民の税負担感に配慮し、平成23年度以降も継続するよう求める

○義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書  
学校事務職員及び栄養職員の給与負担の適用除外をすることなく、義務教育費国庫負担制度の堅持を強く求める

○児童相談所の特別区への早期移管を求める意見書  
国に対して関係する法令の整備を求めること、及び児童相談所の体制の拡充、関連施設の連携強化をすることも

に、住民に密着して児童福祉など関係行政を進めている特別区に、児童相談所を財源も併せて一刻も早く移管することを求める

○子ども施策充実にかかわる国庫補助金に関する意見書  
子ども施策の推進にかかわり、国庫補助金の継続、充実を求める

○総合的な自殺対策の強化並びに加速推進を求める意見書  
現下の経済情勢から、国が、地域における自殺対策を最重要課題に位置づけ、主導的な役割を担いながら、様々な理由に依って、追い込まれた人に対するセーフティネットの一環として、総合的な自殺対策の強化・推進を急ぐことを求める

○今後の保育制度改革に関する意見書  
今後の保育制度改革では、まず子どもの立場に立ち、地域の実情を踏まえた上で、保育の質をしっかりと守りながら、全ての子ども達の健やかな育ちを保障し、子育て支援や保育環境を拡充していくことを求める

○地上デジタル放送に関する意見書  
地上デジタル放送への円滑な移行を図ることを求める



議会の動き

7月

7日 区議会だより編集委員会  
 ・くぎかいだより第228号について

15日

都区制度等調査 特別委員会  
 ・「主要5課題」から都区のあり方検討委員会・幹事会についてほか

16日

地域開発特別委員会  
 ・事務事業の概要と現況説明

20日

防災対策特別委員会  
 ・事務事業の概要と現況説明

23日

交通環境対策 特別委員会  
 ・事務事業の概要と現況説明

26日

議会運営委員会  
 ・委員の派遣について

8月

3日

区民生活委員会  
 ・委員の派遣について  
 健康福祉委員会  
 ・委員の派遣について  
 企画総務委員会  
 ・委員の派遣について  
 文教委員会  
 ・委員の派遣について

4日

建設委員会  
 ・委員の派遣について

27日

防災対策特別委員会  
 ・視察

9月

30日 企画総務委員会  
 ・委員の派遣について

2日

議会運営委員会  
 ・本会議の運営についてほか

6日

全員協議会  
 ・議案の説明及び質疑  
 本会議  
 ・代表質問ほか

13日

本会議  
 ・個人質問、議案の付託ほか

14日

本会議  
 ・個人質問、議案の付託ほか

16日

区民生活委員会  
 ・所管事務調査  
 平成22年度東京都北区一般会計補正予算(第2号)ほか

21日

企画総務委員会  
 ・請願・陳情審査  
 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書提出に関する件  
 委員の派遣について  
 文教委員会  
 ・所管事務調査  
 東京都北区奨学資金貸付条例の一部を改正する条例ほか  
 請願・陳情審査  
 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出に関する件  
 委員の派遣について

22日

議会運営委員会  
 ・本会議の運営について  
 本会議  
 ・議案の議決  
 防災対策特別委員会  
 ・説明会  
 石神井川付替水理模型実験について  
 委員会  
 説明会のまとめ  
 請願・陳情審査  
 堀船地区水害に関する件

17日

健康福祉委員会  
 ・議案審査  
 東京都北区立滝野川東児童館の指定管理者の指定についてほか  
 所管事務調査  
 東京都北区立高齢者在宅サービスセンター条例の一部を改正する条例ほか  
 請願・陳情審査  
 知的障がい者施策の充実を求める件  
 委員の派遣について  
 建設委員会  
 ・所管事務調査  
 平成22年度東京都北区一般会計補正予算(第2号)

24日

決算特別委員会  
 ・総括質疑、議会費

27日

決算特別委員会  
 ・総務費、公債費、諸支出金、予備費  
 決算特別委員会  
 ・福祉費、衛生費

30日

決算特別委員会  
 ・環境費、産業経済費、土木費

10月

1日 決算特別委員会  
 ・教育費  
 4日 決算特別委員会  
 ・一般会計歳入、各特別会計歳入歳出  
 5日 決算特別委員会  
 ・補足質疑、討論、採決  
 7日 議会運営委員会  
 ・本会議の運営についてほか  
 8日 本会議  
 ・議案の議決ほか  
 議会運営委員会  
 ・第4回定例会の日程についてほか  
 14日 区民生活委員会管外視察  
 花巻市、盛岡市  
 15日 健康福祉委員会管外視察  
 芦屋市、宇部市  
 19日 建設委員会管外視察  
 大阪狭山市、倉敷市  
 20日 企画総務委員会管外視察  
 姫路市、静岡市

25日

交通環境対策 特別委員会  
 ・視察  
 王子駅中央口、上中里駅周辺(車坂跨線人道橋)  
 委員会  
 視察のまとめ

お見舞い

北区議会から中華人民共和国及びパキスタン・イスラム共和国に救済金を贈りました。

平成22年9月7日、北区議会は中国甘粛省土石流災害による被害を受けた中華人民共和国及びパキスタン洪水災害による被害を受けたパキスタン・イスラム共和国に救済金を贈りました。区議会議員分及び区職員分を合同で募金し、それぞれの大使館を訪れ、参事官らに救済金を手渡しました。

議案及び資料等の閲覧ができます

議案及び委員会資料等については、区政資料室(第一庁舎1階)、区議会事務局(第一庁舎4階)で閲覧及びコピー(1枚白黒10円)することができます。

次回定例会のお知らせ

平成22年第4回定例会は、11月25日から12月7日までの13日間の会期の予定で開かれます。いずれの会議も午前10時開会予定です。  
 11月26日(金) 本会議は都合により開会されない場合があります。傍聴を希望される方は区議会事務局までお問い合わせください。

12月		11月	
7日(火)	本会議	25日(木)	本会議
6日(月)	議会運営委員会	26日(金)	本会議
2日(木)	企画総務委員会	30日(火)	区民生活委員会
1日(水)	文教委員会		建設委員会
	健康福祉委員会		

議会放映を北ケーブルテレビでぜひご覧ください

第4回定例会本会議の代表質問の様子を北9チャンネルで録画放映します。

放映予定日時

12月5日(日) 午前10時～5時間程度  
 12月6日(月)～10日(金) 午後10時15分～1時間程度(再放送)

区議会だより編集委員会

〒114-8508 北区王子本町1-15-22  
 ☎ : (3908) 9949  
 FAX : (3908) 0600

区議会の活動は北区のホームページ  
<http://www.city.kita.tokyo.jp/>  
 「北区議会」からご覧になれますのでご利用ください。